

滋賀聾全国でも活躍

男子総合8位 ベストを尽くす

第61回全国聾話学校陸上競技大会が10月5日(土)6日(日)に埼玉県上尾市の上尾運動公園陸上競技場で開催され、高等部陸上部生徒7名が参加した。大会では、山本蒼(2年)が1000mで全国3位に輝き、銅メダルを獲得。2000mでも4位入賞を果たした。また、中江将太(3年)は、走幅跳で自己ベストを更新し、4位入賞。岡谷創(3年)が1500mで、8位入賞を果たした。その他、惜しくも決勝進出にはならなかったが、岡谷新(3年)が800mで素晴らしい走りを見せ自己ベストを更新。4×100mリレーでは、決勝進出を果たした。



「飛躍と教訓」 絆を深めた3日間

アクシデントが滋賀を襲った。4×100mリレー試合前のアッ プで奥口大翔(2年)が足を痛め 欠場。代わりとして第一走者に抜 擢された中川拓海(3年)が近畿 大会同様、見事なスタートを決め てバトンをつなぎ、チームベスト 更新でフィニッシュ。見事決勝進 出を果たした。

決勝は、独特な雰囲気と緊張感 が漂う中の試合となった。競技場 が静寂に包まれる中のスタート。 緊張からかスタートを得意とする 中川がまさかのフライング。決勝 は失格に終わった。責任を痛感し て大粒の涙を流す中川。他のメン バーたちも悔しいに違いない。し かし、これまで一緒に頑張ってきた仲間の涙に、一人ひとりが優しい声をかけあった。そして、最後 は全員顔をあげ、胸を張って滋賀 に帰ろうと言葉をかわした。



本当の仲間・友情とは

人間完璧な人なんて存在しません。言い換えれば、誰でも失敗をするということ。その時に、相手を責めるのか優しい言葉をかけられるのかは全く違います。今大会で思いやる気持ちや仲間の大切さを改めて学びました。これからの学校生活や今後の人生に活きるいいですね。

引率教員より

